

- 問1 19世紀におけるイギリスとインドの貿易関係について、産業革命の影響をふまえて述べた文として最も適当なものはどれですか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- イギリスはインドから羊毛を輸入し、機械化された工場で生産した毛織物をインドへ輸出した。
 - イギリスはインドからアヘンを輸入し、代わりに中国産の茶をインドへ輸出した。
 - イギリスはインドから生糸を輸入し、伝統的な技術で作られた絹織物をインドへ輸出した。
 - イギリスはインドから綿花を輸入し、工場で大量生産した綿織物をインドへ輸出した。
- 問2 江戸幕府が1825年に出した「異国船打払令」と、1842年に出した「薪水給与令」の内容の違いを説明した文として、正しいものはどれですか。 (2019年 和歌山県公立入試 類似)
- 異国船打払令が近づく外国船を無差別に攻撃する方針だったのに対し、薪水給与令は燃料や食料を与えて退去させる方針である
 - 異国船打払令がキリスト教の布教を禁止する方針だったのに対し、薪水給与令はキリスト教徒に限定して入国を認める方針である
 - 異国船打払令が日本の全港を閉鎖する方針だったのに対し、薪水給与令は長崎と横浜の2港に限り開港する方針である
 - 異国船打払令がオランダ以外の船を拒絶する方針だったのに対し、薪水給与令はアメリカとの通商を全面的に認める方針である
- 問3 江戸幕府がポーハタン号の上で調印した日米修好通商条約は、日本にとって不平等な条約であったとされています。この条約において、日本の「関税自主権」が認められていなかったことによる具体的な影響として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 北海道公立入試 類似)
- 安価な外国産の綿製品などが大量に流入し、国内の綿作や綿織物業が打撃を受けた。
 - 横浜や長崎などの開港場において、外国人が居住し営業を行う居留地が設けられた。
 - 下田や箱館の港が指定され、外国船に対して薪水や食料を供給することが義務付けられた。
 - 日本国内で犯罪を犯した外国人を日本の法律で裁くことができず、不当な判決が下された。
- 問4 日本において水野忠邦が天保の改革を進めていた1840年ごろ、世界史の年表において同時期に位置づけられる東アジアの出来事として正しいものはどれですか。 (2022年 青森県公立入試 類似)
- キリスト教の教えをもとに「太平天国」を樹立した農民たちが、清の打倒を目指して起こした大規模な反乱
 - イギリスが清に勝利して南京条約を結び、香港の割譲や5つの港の開港を認めさせたアヘン戦争
 - ロシアの南下政策を阻止しようとするイギリスとフランスが、オスマン帝国を支援して黒海周辺で戦ったクリミア戦争
 - 日本が清に勝利して下関条約を結び、台湾の領有や多額の賠償金の獲得を認めさせた日清戦争
- 問5 幕末の開港にともなう貿易の拡大は、日本の社会に激しい物価の変動をもたらしました。当時の人々がこうした生活の苦しさや社会の混乱を打破しようとし、「世直し」を求めて起こした行動や社会現象として正しいものはどれですか。 (2025年 神奈川県公立入試 類似)
- 人権の平等を求めて全国水平社が結成され、差別を助長する経済秩序の変革を訴えた
 - 劣悪な労働環境を改善するために、製糸工場の女工たちが日本で初めての労働争議を起こした
 - 農村での一揆や都市部での打ちこわしが多発し、「ええじゃないか」と唱えて踊り歩く現象が広がった
 - 地価の3%を現金で納める制度に反対するため、全国各地で大規模な地租改正反対一揆が発生した
- 問6 1858年に調印された日米修好通商条約に基づいて貿易が開始された後、日本国内では物価が急激に上昇し、社会が混乱に陥りました。この物価上昇を招いた背景について述べたものとして、最も適切なものはどれか。 (2026年 青森県公立入試 類似)
- 幕府が国内からの金流出を防ぐために貨幣の質を大幅に下げたことや、輸出による国内の品不足が生じたこと
 - 幕府が経済を安定させるために、商品の流通を独占していた株仲間を解散させ、自由な取引を禁じたこと
 - 米の買い占めを発端として、全国の主要都市で民衆が米屋などを襲撃する米騒動が頻発したこと
 - 欧米諸国から安価な農作物が大量に輸入されたことで国内農業が衰退し、食料の自給率が低下したこと
- 問7 1858年に日米修好通商条約が締結され、横浜などの港で貿易が開始された後の日本経済の状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 長崎県公立入試 類似)
- 輸出額が輸入額を大幅に上回ったことで海外から大量の金貨が国内へ流入し、それが要因となって国内の物価が急速に下落した。
 - 幕府が貿易を完全に統制して金貨の流出を防いだため、国内の物価は安定し、茶や生糸などの輸出産業に従事する農民の生活は向上した。
 - イギリスから輸入された安価な綿織物によって国内の綿糸生産は飛躍的に向上したが、生糸の輸出が制限されたことで養蚕業は衰退した。
 - 海外との金銀の交換比率の違いから大量の金貨が国外へ流出し、さらに安価な外国産の綿織物が流入したことで国内の綿作地が大きな打撃を受けた。
- 問8 1853年に浦賀へ来航したペリーが、翌年の1854年に再び来航した際に江戸幕府と結んだ条約によって、日本が新たに開港した港の組み合わせとして正しいものを選びなさい。 (2026年 岐阜県公立入試 類似)
- 北海道の箱館と、伊豆半島の先端付近に位置する下田
 - 北海道の箱館と、九州北西部に位置する長崎
 - 神奈川の横浜と、現在の兵庫県にあたる兵庫
 - 伊豆半島の先端付近に位置する下田と、九州北西部に位置する長崎
- 問9 1860年、江戸城の桜田門外において、大老の井伊直弼が水戸藩の元藩士らに暗殺される「桜田門外の変」が起きました。この事件が起きた背景として、当時の幕末の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
- 板垣退助らを中心に自由民権運動が活発になり、国会の開設を求める国会期成同盟が結成された政治的混乱。
 - 明治政府が徴兵令などの改革を進めたことで、特権を失った武士たちが各地で士族の反乱を起こしていた状況。
 - 政府が富岡製糸場などの官営模範工場を建設し、急速な近代化を進めたことに対する農民たちの反対運動。
 - 天皇の許しを得ないまま日米修好通商条約を結び、反対派を「安政の大獄」で厳しく処罰したことへの反発。
- 問10 幕末にアメリカやイギリスなどとの貿易が本格化した際、輸出額が非常に多かった品目と、その貿易が国内経済に与えた影響の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
- 米が主要な輸出品となり、地主が富を蓄えて地方の近代化が急速に進んだ。
 - 武器や軍艦が主要な輸入品となり、国内の武士階級の経済力が向上した。
 - 生糸が主要な輸出品となり、国内では品不足による物価の上昇を招いた。
 - 綿織物が主要な輸出品となり、国内の綿作農家が大きな利益を得た。
- 問11 日米修好通商条約の締結後に本格化した幕末の貿易において、1865年当時の統計では輸出額の約8割を占める品目が占めていました。この品目の大量輸出が国内の経済や社会に与えた影響について、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 佐賀県公立入試 類似)
- 茶の輸出が急増したことで農村の現金収入が増え、幕府に対する農民の支持が急速に高まった。
 - 生糸が大量に輸出されたことで国内での供給が不足し、関連する諸商品の価格が急激に上昇する物価騰貴を招いた。
 - 綿織物が大量に輸出されたことで国内の綿産業が急速に発展し、幕府の財政難が解消されるきっかけとなった。
 - 武器が大量に輸出されたことで諸藩の軍勢力が強化され、国内の治安が一時的に安定した。